

240人が市政の発展を誓う

1月4日 平成25年賀詞交歓会を開催

日ごろ市政にご支援・ご協力をいただいている区長や企業、各種団体の代表者ら約240人を招き、平成25年伊豆の国市賀詞交歓会をみんなのHawaiians(田京)で行いました。

望月市長は「これからの5～10年は、市の方向性をつくっていく大変重要な時期」とあいさつ。式辞に続き、平成24年度の自治功労表彰、功績表彰および善行表彰を受賞した18人1団体を紹介しました。



いちごチャリティーに長蛇の列

1月12日 伊豆の国いちごまつりを開催

JA伊豆の国、JA伊豆の国苺委員会および市の共催により、伊豆の国いちごまつりをJAいずのくにグリーンプラザで開催しました。

いちごの直売、大抽選会、いちごチャリティー、ステージアトラクションなど、多くの催し物が行われ、会場は大盛況でした。特にいちごチャリティーは、100円以上の寄付でいちご1パックがもらえるという大盤振る舞いに、長蛇の列ができていました。



今年一年の無災害を祈る

1月13日 伊豆の国市消防団出初式を挙行

新年の恒例行事となる消防団出初式を、中島運動公園で行いました。団員と来賓合わせ約300人が参加、今年一年の無災害を祈りました。

伊奈団長は、「昨年は国内で竜巻も発生した。消防団として、火災のみならずあらゆる災害に立ち向かえるよう訓練していきたい」と訓示。その他、長年の勤続を称える団員の表彰や、火の用心三唱などが行われ、最後は堤防から城山に向かって一斉放水が行われました。



小正月の伝統行事

1月12日～14日 どんど焼きを開催

1月12日～14日の三連休中に、市内各地区でどんど焼きが行われました。

どんど焼きとは、無病息災・五穀豊穡を祈る民間伝承行事で、火にあたり、焼いた団子を食べると、その年は健康でいられるなどの言い伝えがあります。

写真の大仁区でも、早朝から子どもや地域の人たちが集まり、寒い中火にあたって暖をとったり、木の枝に刺した団子を焼いて食べていました。



初日の出を拝もうと山頂に人・人・人

1月1日 初日の出 in 葛城山山頂

元旦の初日の出の御利益を求め、葛城山の山頂に1,000人以上が集まりました。今年は天候にも恵まれ、例年の倍以上の人が寒さに負けず足を運びました。

山頂からは、朝日に包まれた見事な富士山も姿を披露し、訪れた人々を満足させていました。



市の特産「イチゴ」の季節の到来

12月・1月 市内いちご狩りセンターがオープン

12月15日には江間いちご狩りセンターが、1月2日には葦山いちご狩りセンター、伊豆長岡いちご狩りセンターが開園しました。

江間いちご狩りセンターでは、開園式典で演奏を披露した楽生保育園の園児たちを招待。真っ赤に染まった甘い宝石を口いっぱい頬張っていました。

毎年20万人以上が訪れる市内いちご狩りセンターの開園期間は、3園とも5月6日(月)まで。



富士山を見ながらの新春マラソン

1月1日 元旦マラソン＆ウォーキング大会

第8回元旦マラソン＆ウォーキング大会を、葦山時代劇場をスタート・ゴール地点として開催しました。大人から子どもまで過去最多の939人の参加者が、新春の市内を走り(歩き)ました。

マラソンの部は、本気でタイムを競う人から、親子一緒に楽しく走る人まで、幅広い層が参加。ウォーキングの部は、歴史の名所を盛り込んだコースを参加者それぞれのペースで歩きました。

